2025 年 4 月 1 日（火）

ミャンマーは今…

2025 年 3 月 28 日にミャンマー中部において発生した大地震により、ミャンマー連邦共和国や隣国のタイ王国で大きな被害が出ているとの報が伝えられています。被害の全容･詳細は未だに定かではありませんが、お亡くなりになられた方々とそのご家族に心からの弔意を表し、被災された皆様に全校を挙げて心よりお見舞い申し上げます。

しかし、ミャンマーは今、4 年前の 2 月 1 日に起きた軍事クーデターによって強圧的な支配が続いており、少数民族ロヒンギャの問題をはじめとする民主的な勢力との紛争が継続し、各地で戦闘が続いているだけに不安定な政情の中、復旧の遅れが気がかりです。また、この間に多くの医療関係者が国外に逃れたとの情報もあり、日中は気温 40 ℃にもなる野外で露天の避難者の安全と衛生、治安の上でも大きな課題となっているようです。

軍事政権、内戦の中で発生した大自然災害というカタストロフィーは、ミャンマーの人々にさらに過酷な現実をもたらしていることは確かです。

私も大学時代からミャンマー研究者との個人的なつながりもあり、さらに 2013 年に外務省 JENESYS（東アジア大交流計画）の一貫として代表生徒 10 名と訪緬して現地の高校生と交流に参加する機会に恵まれました。それ以降、コロナ禍で途絶えるまで明治学院大学のサークルを通してミャンマーと PenPal 交流を続けていただけに、一日でも早くミャンマーの人々に復旧復興と和平が訪れることを祈念して止みません。

မြန်မာပြည်ကြီး ငြိမ်းချမ်းပါစေ။　ミャンマーが平和でありますように

なお、ミャンマーの置かれている状況については、別途、本ブログにても関連報告をする予定です。

石飛　一吉